

# JAPANESE HEART FAILURE SOCIETY



JAPANESE HEART FAILURE SOCIETY

日本心不全学会

## News Letter

1998, No.2

発行：1998年10月15日  
日本心不全学会事務局  
Japanese Heart Failure Society

〒606 京都市左京区聖護院川原町54  
京都大学医学研究科循環病態学内  
Tel. 075-751-4255 Fax. 075-751-4872

### CONTENTS

3

ヨーロッパ心不全研究会に参加して 京都大学 松森 昭

5

第2回日本心不全学会総会・議案書

◇会 期：1998年10月15日(木)～17日(土)

◇会 場：札幌パークホテル

〒060-0810 札幌市中央区南10条西3丁目 Tel: 011-511-3131

◇会 長：北島 顕

12

日本心不全学会 会則



ヨーロッパ心不全研究会に参加して

ヨーロッパ心臓学会のワーキンググループによる第1回の心不全研究会が1995年アムステルダムで開催され、第2回は3,000人以上が参加して1997年ケルンで行われた。本来、ヨーロッパ心不全研究会は2年ごとに開催されることになっているが、今回は特別に“Update”として1998年、6月25日から27日にかけて、英国グラスゴー市のスコットランドカンファレンスセンターでHeart Failure Update '98が開催された。グラスゴー大学のDr. ClelandおよびDr. Dargieを会長として行われ、約1,000人が参加した。例年だと好天に恵まれる季節であるということであったが、残念ながら期間中は曇天が多く、時にはわか雨が降る肌寒い天候であった。今回のプログラムのメインテーマとして“Mechanism of progression of heart failure”が取り上げられ、

1. Ventricular remodeling
2. Changes in the cardiovascular matrix
3. Cellular basis for contractile dysfunction
4. Cytokines
5. Arrhythmias
6. Changes in myocyte electrophysiology
7. Programmed cell death
8. Pulmonary changes
9. End-stage heart failure
10. Peripheral vascular changes
11. Ischemia/pypernatation/infarction
12. Genetics of heart failure and ventricular remodeling
13. Neurohormones: markers and modulations of progression

の各セッションが行われた。会頭講演としてDr. Clelandが“Progression of heart failure: definition and overview of mechanisms”を行った。Key note lectureとしてDr. Burnetは“Screening for left ventricular dysfunction and diagnosis”, Dr. Packerは“Modifying the progression of heart failure in patients”, Dr. Swedbergは“Where to next”を講演した。その他“Epidemiology in Europe”“End-stage heart failure”“New data on beta-blocker”“Agents acting on the renin-angiotensin system”などのセッションが行われた。さらに約100題のポスターセッション、“Meet the expert”セッションや多くのサテライトシンポジウムが開催された。上述のように“Mechanisms of progression of heart failure”のひとつのセッションとして“Cytokine”がとりあげられ、篠山教授とDr. Drexlerが座長をつとめた。筆者は“Cytokines: what are they? Why are they important in chronic heart failure”のタイトルで講演を行い、イタリアのDr. Ferrariは“Role of inflammatory cells in the progression of heart failure”として、重症心不全でIL-2, IL-6, TNF-alphaが上昇し、また、iNOSの発現が亢進し予後との関連があり、リンパ球でのFas抗原が亢進すると報告した。また、米国のDr. Mannは“Cytokine models of heart failure”でTNFトランスジェニックマウスモデルを中心に講演したが、会場は立見が出るほどの盛況であった。

歓迎レセプションはグラスゴー市庁舎で行われ、会長招宴は博物館で行われるなどスコットランドならではの催しであった。会長をはじめ主催者はタータンチェックの民族衣装を着、ディナーショーはスコットランド民謡の演奏であった。アメリカのカントリーミュージックのルーツがスコットランドであることを知って興味深かったが、さらに、“蛍の光”の合唱を行うなど会は大変盛況であった。

なお、Heart Failure '99はスウェーデンのGoteborgで来年6月5日から8日までDr. HjalmarsonとDr. Swedbergの主催で開催される予定である。

(記：京都大学循環病態学 松森 昭)

日本心不全学会組織

○理事長	篠山重威	木全心一	篠山重威	白土邦男	杉下靖郎	竹下 彰
○理事	北島 顕	松崎益徳	矢崎義雄	横山光宏		
藤原久義	相澤義房	阿部圭志	飯塚昌彦	飯沼宏之	石井常男	石川恭三
○評議員	和泉 徹	井上 博	井上通敏	伊吹山千晴	今泉 勉	岩坂壽二
石川欽司	遠藤政夫	大江 透	大川真一郎	小川 聡	奥村 謙	尾本良三
岩崎忠昭	片桐 敬	上松瀬勝男	茅野真男	川口秀明	河村慧四郎	神原啓文
梶谷定志	木之下正彦	北島 顕	木全心一	楠岡英雄	児玉和久	小林 正
菊池健次郎	斎藤大治	齋藤宗靖	篠山重威	佐藤友英	沢山俊民	島田和幸
小柳左門	白土邦男	杉下靖郎	砂川賢二	住吉徹哉	関口守衛	芹澤 剛
島本和明	滝澤明憲	竹越 襄	竹下 彰	田中弘允	谷口興一	田村康二
高野照夫	土居義典	終山幸志郎	友池仁暢	外山淳治	豊岡照彦	永井良三
土肥和敏	中野 赳	西尾一郎	西山信一郎	野々木宏	延吉正清	土師一夫
中川雅夫	半田俊之介	菱田 仁	平盛勝彦	日和田邦男	藤田正俊	藤原久義
林 博史	堀 正二	本田 喬	真島三郎	増田善昭	松尾修三	松尾博司
細田泰之	松岡博昭	松崎益徳	松森 昭	馬淵 宏	丸茂文昭	丸山幸夫
松尾裕英	道場信孝	光藤和明	宮武邦夫	村山正博	望月正武	本宮武司
三浦 傳	矢崎義雄	泰江弘文	柳澤輝行	矢野捷介	山口 洋	横田慶之
盛岡茂文	吉川純一	李 鐘大	(敬称略)			
横山光宏						

賛助会員一覧 (平成10年9月30日現在、五十音順)

アストラジャパン株式会社	エーザイ株式会社	大塚製薬株式会社	サントリー株式会社
塩野義製薬株式会社	ジョンソン・エンド・ジョンソンメディカル株式会社		
ゼネカ薬品株式会社	大鵬薬品工業株式会社	田辺製薬株式会社	第一製薬株式会社
株式会社第一ラジオアイソトープ研究所		財団法人体質研究会	大正製薬株式会社
大日本製薬株式会社	日本化薬株式会社	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	
日本ヘキスト・マリオン・ルセル株式会社		日本メジフィジックス株式会社	
日本モンサント株式会社	バイエル薬品株式会社	萬有製薬株式会社	ファイザー製薬株式会社
フクダ電子株式会社	藤沢薬品工業株式会社	丸石製薬株式会社	三菱化学株式会社
明治製菓株式会社	持田製薬株式会社	吉富製薬株式会社	

平成10年度日本心不全学会 総会

議案書

日時：平成10年10月15日（木）午後4時00分～4時20分  
会場：札幌パークホテル 3階メインホール

議長：北畠 顕 会長

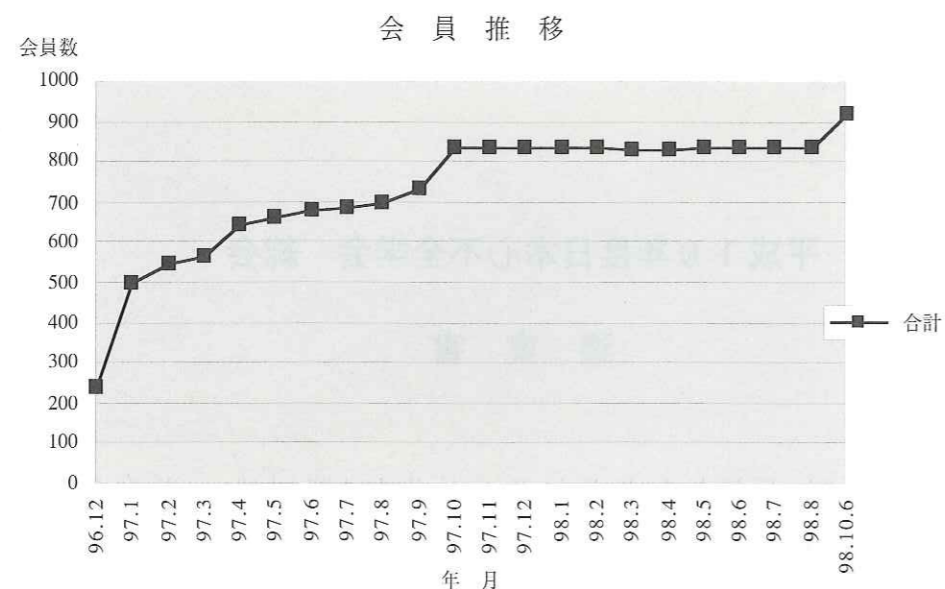
次第：

- 報告事項： 1. 会員数の推移について  
2. 機関誌 Journal of Cardiac Failure について  
3. その他

- 議題： 1. 平成9年度収支決算ならびに監査報告  
2. 平成11年度予算案について  
3. 平成12年度会長選出について  
4. その他



報告事項 1. 会員数の推移について



年月	正会員入会	賛助会員入会	退会	合計
96.12	241			241
97.1	262			503
97.2	43	4		550
97.3	18	2	1	569
97.4	72	6	1	646
97.5	17	2		665
97.6	11	2		678
97.7	9	2		689
97.8	4	7		700
97.9	31	4	1	734
97.10	99	2		835
97.11	1			836
97.12	3	-1		838
98.1	2			840
98.2	0			840
98.3	1		8	833
98.4	1		1	833
98.5	9		5	837
98.6	4		2	839
98.7	1		1	839
98.8	1		1	839
98.10.6	80			919
合計	909	30	20	919

地域別会員数 (1998年8月末)

	北海道	東北	関東	中部	甲信越	関西	中国	四国	九州	合計
正会員	82	40	221	85	70	259	43	28	61	889
賛助			18			12				30

報告事項 2. 機関誌 Journal of Cardiac Failure について

Publication Committee

Japanese Hear Failure Society

- Akira Takeshita (Chair)      Research Institute of Angiology  
Kyushu University, Faculty of Medicine
- Akira Kitabatake            Department of Cardiovascular Medicine  
Hokkaido University School of Medicine
- Masunori Matsuzaki        The Second Department of Internal Medicine  
Yamaguchi University School of Medicine
- Yoshio Yazaki                The Third Department of Internal Medicine  
The University of Tokyo, Faculty of Medicine
- Mitsuhiro Yokoyama        First Division, Department of Internal Medicine  
Kobe University School of Medicine
- Shigetake Sasayama  
(ex-officio)                    Department of Cardiovascular Medicine  
Kyoto University

Hear Failure Society of America

- Victor J Dzau (Chair)        Brigham & Women's Hospital
- Michael R. Bristow         University of Colorado Health Science Center
- Wilson S. Colucci          Boston University School of Medicine
- Berery H. Lorell            Beth Israel Hospital
- Edmund Sonnenblick        Albert Einstein College of Medicine
- Jay N. Cohn (ex-officio)    University of Minnesota Medical School
- John E. Strobeck (ex-officio)

The Member for Editorial Board (JHFS)

- Shigetake Sasayama        Department of Cardiovascular Medicine  
(Executive Board)        Kyoto University
- Masao Endoh                Department of Pharmacology  
Yamagata University School of Medicine
- Hisayoshi Fujiwara        The Second Department of Internal Medicine  
Gifu University School of Medicine
- Masatsugu Hori            The First Department of Internal Medicine  
Osaka University Medical School
- Masahiko Kinoshita        The First Department of Internal Medicine  
Shiga University of Medical Science
- Kazuyuki Shimada         Department of Cardiology  
Jichi Medical School
- Akira Takeshita            Research Institute of Angiology  
Kyushu University, Faculty of Medicine
- Hitonobu Tomoike         The First Department of Internal Medicine  
Yamagata University School of Medicine
- Hirofumi Yasue            Division of Cardiology  
Kumamoto University School of Medicine
- Yoshio Yazaki              The Third Department of Internal Medicine  
The University of Tokyo, Faculty of Medicine

## 議題 1. 日本心不全学会平成9年度収支決算報告ならびに監査報告

(1996年9月27日～1998年3月31日)

## &lt;収入の部&gt;

科 目	平成9年度予算額	平成9年度決算額	差異 (△超過)
1. 会費収入	11,000,000	10,580,000	420,000
正会員会費	8,000,000	7,480,000	520,000
賛助会員会費	3,000,000	3,100,000	△ 100,000
2. 会報刊行事業収入	1,000,000	450,000	550,000
広告掲載料収入	1,000,000	450,000	550,000
3. 雑収入			
当期収入合計 (A)	12,000,000	11,030,000	970,000
前期繰越収支差額	0	0	
収入合計 (B)	12,000,000	11,030,000	970,000

## &lt;支出の部&gt;

科 目	平成9年度予算額	平成9年度決算額	差異 (△超過)
1. 刊行事業費	9,918,000	8,162,635	1,755,365
JFC購読料 (vol. 3, no. 1-4)	5,760,000	6,153,565	△ 393,565
JFC送料	1,150,000	1,221,580	△ 71,580
会報編集制作費 (4回)	2,400,000	450,000	1,950,000
会報送料	608,000	337,490	270,510
2. 学術集会費	567,000	435,240	131,760
予稿集発行負担金	350,000		350,000
予稿集送料	217,000	435,240	△ 218,240
3. 管理費	3,092,000	3,061,237	30,763
会員管理事務委託費	1,402,000	1,257,942	144,058
庶務会計事務委託費	1,190,000	540,750	649,250
会議費	500,000	283,868	216,132
通信費		653,870	△ 653,870
印刷費		130,060	△ 130,060
雑費		194,747	△ 194,747
当期支出合計 (C)	13,577,000	11,659,112	1,917,888
当期収支差額 (A - C)	△ 1,577,000	△ 629,112	△ 2,027,888
次期繰越収支差額 (B - C)	△ 1,577,000	△ 629,112	△ 2,027,888

## 貸借対照表 (平成10年3月31日現在)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産		流動負債	
預け金	6,779,431	前受会費	6,469,423
前払費用	140,880	未払金	450,000
未収入金	450,000	次年度繰越金	450,888
資産合計	7,370,311	負債合計	7,370,311

## 財産目録 (平成10年3月31日現在)

科 目	金 額
1. 資産の部	
流動資産	
預け金	
日本学会事務センター/9年度会費	6,779,431
前払費用	
次年度会費請求送料・ニュースレター送料	140,880
未収入金	
チャーチル・ジャパン/広告掲載料	450,000
資産合計	7,370,311
2. 負債の部	
流動負債	
前受会費	
日本学会事務センター/10年度会費	6,469,423
未払金	
チャーチル・ジャパン/会報制作費	450,000
次年度繰越金	450,888
負債合計	7,370,311

収支計算書および財産目録に記載された内容および金額は上記通り相違ありません。

平成10年10月 日 監事 竹越 襄 印

友池 仁暢 印



## 議題 2. 日本心不全学会平成11年度収支予算案について

(1999年4月1日～2000年3月31日)

## &lt;収入の部&gt;

科 目	平成11年度予算額	平成10年度予算額	差異 (△超過)
1. 会費収入	13,500,000	13,500,000	
正会員会費	10,000,000	10,000,000	
賛助会員会費	3,500,000	3,500,000	
2. 会報刊行事業収入	2,000,000	2,500,000	△ 500,000
広告掲載料収入	2,000,000	2,500,000	△ 500,000
3. 雑収入		2,000,000	△ 2,000,000
寄付金		2,000,000	△ 2,000,000
当期収入合計 (A)	15,500,000	18,000,000	△ 2,000,000
前期繰越収支差額	3,245,888	450,888	795,000
収入合計 (B)	18,745,888	18,450,888	△ 1,705,000

## &lt;支出の部&gt;

科 目	平成11年度予算額	平成10年度決算額	差異 (△超過)
1. 刊行事業費	12,350,000	11,600,000	750,000
JFC購読料 (vol. 3, no. 1-4)	6,750,000	6,000,000	750,000
JFC送料	1,840,000	1,840,000	
会報編集制作費 (4回)	3,000,000	3,000,000	
会報送料	760,000	760,000	
2. 学術集会費	810,000	810,000	
予稿集発行負担金	500,000	500,000	
予稿集送料	310,000	310,000	
3. 管理費	2,950,000	2,795,000	155,000
会員管理事務委託費*	800,000	1,145,000	△ 345,000
庶務会計事務委託費*	1,150,000	1,150,000	
会議費	500,000	500,000	
通信費	400,000	0	400,000
印刷費	100,000	0	100,000
雑費	0	0	
当期支出合計 (C)	16,110,000	15,205,000	905,000
当期収支差額 (A - C)	△ 610,000	2,795,000	△ 3,405,000
次期繰越収支差額 (B - C)	2,635,888	3,245,888	△ 610,000

## 議題 3. 平成12年度 (2000年) 会長選出について

平成12年度 (2000年)

第4回会長候補者

会場に掲示いたします。

次回/歴代会長

平成11年度 (1999年)

第3回会長

竹下 彰

九州大学医学部循環器内科

平成10年度 (1998年)

第2回会長

北島 顕

北海道大学医学部循環器内科

平成9年度 (1997年)

第1回会長

篠山 重威

京都大学医学研究科循環病態学



## 日本心不全学会会則

### 第1章 総則

第1条 本会は、日本心不全学会（Japanese Heart Failure Society）と称する。

第2条 本会の運営のため別に定めるところに事務所をおく。

### 第2章 目的および事業

第3条 本会は、心不全ならびにこれに関連する分野の研究発表の場を提供し、知識や情報の交換を行うことにより心不全に関する研究を推進し、もってわが国における医学の発展に寄与することを目的とする。

第4条 本会は、第3条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- 1) 学術集会の開催
- 2) 学術刊行物の発行
- 3) 内外の関連学術団体との連絡および協力
- 4) その他本学会の目的達成に必要な事業

### 第3章 会員

第5条 本会の会員は正会員、名誉会員、特別会員および賛助会員とし、本会の目的達成に協力するものとする。

- 1) 正会員 本会の目的に賛同して入会した個人
- 2) 名誉会員 本会の発展に多年功労のあった正会員とし、理事会および評議員会の議を経て総会で推挙する
- 3) 特別会員 心不全学の領域に特に功績のあった正会員とし、理事会および評議員会の議を経て総会で推挙する
- 4) 賛助会員 本会の目的に賛同し本会の維持発展に協力を希望する法人、団体または個人

第6条 会員のその他の資格、権利、義務、入退会などは別に定める細則による。

### 第4章 役員

第7条 本会に次の役員をおく。

- 1) 理事長 1名
- 2) 理事 若干名
- 3) 評議員
- 4) 学術集会会長（以下会長と称する） 1名
- 5) 監事 2名
- 6) 幹事 若干名

第8条 役員を選出

- 1) 理事、評議員および監事は別に定める規定にしたがって選出される。監事は理事、会長、幹事などを兼ねることはできない。
- 2) 理事長は理事の中より理事会にて選出される。
- 3) 会長は理事会の推薦により評議員会の議をへて総会において選出される。
- 4) 幹事は理事会の議を経て、理事長が正会員の中から委嘱する。

第9条 役員職務および任期

- 1) 理事長は本会を代表し本会の会務の運営統轄にあたる。任期は3年とし再選を妨げない。
- 2) 理事は理事会を組織し、この会則に定められた事項のほか、評議員会および総会の権限に属する事項以外の事項を審議し、本会の運営、執行にあたる。
- 3) 評議員は評議員会を組織し、この会則に定められた事項を決議するほか、理事長の諮問に応じて、本会の運営に関する重要な事項を審議する。任期は3年とし再選を妨げない。

- 4) 会長は学術集会を主宰する。任期は選任された日に始まり主宰する学術集会の終了した日に終わる。会長および次期会長はその任期中、理事会に出席する。
- 5) 監事は本会の会計監査およびその他の会務の監査にあたる。任期は3年とし再選を妨げない。監事はその任期中、理事会に出席できる。
- 6) 幹事は理事会の命を受けて本会の会務を分掌する。任期は1年とし再選を妨げない。
- 7) 役員に、役員としてふさわしくない行為があったときは、その任期中であっても、理事会および評議員会の議決によって、これを解任することができる。
- 8) 任期中の理事長、会長、監事などの役員に欠あるときは理事会は速やかに後任役員を選出し、評議員会の承認を受けるものとする。その際の後任役員の任期は前任役員の残任期間とする。

### 第5章 会議

第10条 本会の会議はつぎの3種とする。

- 1) 総会
- 2) 評議員会
- 3) 理事会

第11条 総会

- 1) 総会は正会員、名誉会員、特別会員をもって構成する。総会は年1回の定期総会および臨時総会とする。
- 2) 理事長は、年次学術集会の期間中にその開催地において定期総会を召集し、理事会ならびに評議員会の決定事項を報告する。
- 3) 理事長は、理事会または評議員会が必要と認めたとき、および総会構成員の5分の1以上から会議の目的を示して請求のあったときは、60日以内に臨時総会を召集しなければならない。
- 4) 定期総会の議長は会長とし、臨時総会の議長は出席者の中から互選によって選任する。
- 5) つぎの事項は総会の承認を要する。
  - (1) 事業計画および収支予算
  - (2) 事業報告および収支決算
  - (3) 会則の変更ならびに本会の解散
  - (4) その他、理事会において必要と認めた事項
- 6) 総会において議決した事項は会員に通告しなければならない。

第12条 評議員会

- 1) 評議員会は評議員をもって構成する。評議員会は年1回の定期評議員会および臨時評議員会とする。
- 2) 理事長は、定期総会の会期の前に定期評議員会を召集する。
- 3) 理事長は、理事会が必要と認めたとき、および評議員の2分の1以上または監事の請求のあったときは、40日以内に臨時評議員会を召集しなければならない。
- 4) 評議員会の議長は原則として会長とする。ただし会長が認めたときは理事長もしくは会長が指名した者が議長を務めることができる。
- 5) 評議員会の成立には委任状を含めて評議員の2分の1以上の出席を要する。
- 6) 評議員会は次の事項を審議し、総会に報告して承認をもとめる。
  - (1) 理事、会長、監事の選出および推薦
  - (2) 事業および収支報告
  - (3) その他、評議員会において必要と認めた事項

第13条 理事会

- 1) 理事会は理事および会長をもって構成する。
- 2) 理事長は必要に応じて理事会を召集する。
- 3) 理事長は、理事の2分の1以上または監事の請求のあったときは、すみやかに理事会を召集しなければならない。
- 4) 理事会の議長は理事長とする。



第14条 議決および議事録

- 1) すべての会議の議事は特に定められた場合のほかは、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長が決するところによる。
- 2) すべての会議の議事録は議長の責任において作成し、議長および出席代表者2名が署名して、これを保存する。

第6章 委員会

第15条 本会はその業務を行うため必要とする委員会を理事会の議を経て、おくことができる。

第16条 委員会の委員および委員長は理事会の議を経て、理事長が正会員の中から委嘱する。

第7章 会計

第17条 本会の経費は会費、寄付金、各種補助金、その他をもってこれにあてる。会費は評議員会でこれを定め、総会の承認を得るものとする。

第18条 本会の収支予算は会計年度開始前に理事長が編成し、理事会および評議員会の議決を経て、総会の承認を受けなければならない。

第19条 本会の収支決算は会計年度終了後に理事長が作成し、監事の監査を経て、評議員会および総会の承認を受けなければならない。

第20条 本会の会計年度は毎年4月1日より始まり、翌年3月31日に終わる。

第8章 会則の変更および解散

第21条 本会の会則は理事会および評議員会の議決を経たうえ、総会の承認を受けなければ変更することはできない。

第22条 本会は、理事会および評議員会において、それぞれ4分の3以上の同意を得て、かつ総会の承認を受けなければ解散できない。

第23条 本会の解散後の残余財産は、理事会および評議員会の議決と総会の承認を受けて、本会の目的と類似の目的を有する公益事業団体に寄付する。

第9章 補則

第24条 本会則の施行についての細則は理事会および評議員会の議決を経て、別に定める。

第25条 本会則の解釈について疑義が生じた場合には理事会の判断による。

付 則

1. 本会則は平成8年9月27日から施行する。
2. 本会発足にあたる初年度の会計年度は本会則20条の条項にもかかわらず例外として会の発足の日より平成10年3月31日までとする。

日本心不全学会 委員会名簿（敬称略）および会務

任期3年（平成12年3月31日まで）

○は委員長

□総務委員会（本会の運営を円滑にするためのすべての案件を諮問する会務。規定類の整備、国内外関係学協会との情報交換なども含む）

○篠山重威 木全心一 白土邦男 杉下靖郎  
藤原久義 矢崎義雄  
幹事 和泉 徹

□財務委員会（財務に関する規定および予算・決算その他を立案し諮問する会務）

○藤原久義 杉下靖郎 竹下 彰 横山光宏  
幹事 松森 昭

□学術委員会（心不全学に関する各種行事の企画、調査および学術奨励に関するすべての会務）

○松尾裕英 北畠 顕 木全心一 白土邦男  
松崎益徳

□出版・編集委員会（本会の会誌・会報の発行に関する会務）

○竹下 彰 北畠 顕 篠山重威 松崎益徳  
矢崎義雄 横山光宏

□教育研修委員会（心不全学の分野における教育・研修に関する活動を促進し、その企画援助に関する会務）

○木全心一 白土邦男 松尾裕英